

## 徳島県公立高等学校普通科の通学区域制見直しに伴う入学者選抜結果の概要

## 1 令和5年度入学者選抜における通学区域制

通学区域制については、令和3年度入学者選抜以降、変更はない。

【参考】令和3年度入学者選抜における変更点

- (1) 第3学区（徳島市内）において、
- ・ 城東高等学校について、募集定員の12%以内であった流入率を廃止し、通学区域を全県一区とした。（城ノ内高等学校は募集停止）
  - ・ 城南、城北及び徳島北高等学校について、募集定員の10%以内であった流入率を12%以内に引き上げた。
  - ・ 徳島市立高等学校については、所管する徳島市教育委員会の意向を踏まえ、募集定員の8%以内の流入率を維持した。
- (2) 第1学区（県南部）において、  
学区内総募集定員の15%であった流入率を20%以内に引き上げた。
- (3) 第2学区（県北部～県西部）において、  
学区内総募集定員の10%であった流入率を12%以内に引き上げた。
- ※流入率：募集定員に占める他学区からの合格者数の上限割合

## 2 結果の概要

※城東高等学校を全県一区とした令和3年度入試を境とする前後3年間の平均を比較

- (1) 通学区域外から第3学区の普通科（城南・城北・徳島北・徳島市立）に合格した生徒数

平成30年度から令和2年度まで 68.3人

→ 令和3年度から令和5年度まで 91.3人

- (2) 徳島市内の公立中学校から徳島市外の普通科に合格した生徒数

平成30年度から令和2年度まで 80.3人

→ 令和3年度から令和5年度まで 77.3人

- (3) 第3学区普通科（城南・城北・徳島北・徳島市立）における各学校の学区内外別合格最低点の差の平均

平成30年度から令和2年度まで 103.7点

→ 令和3年度から令和5年度まで 63.0点